

鬼崎ヨットクラブオーナー(代表者)各位

鬼崎ヨットクラブ 安全委員会

## 第26回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練のご案内

OYC オーナー各位におかれましては、例年のイベントへのご協力有難うございます。

本年度も恒例行事でもあります OYC 安全訓練を9月9日(日)に予定していますので  
ご参加頂きます様、宜しくお願い致します。

案内と致しまして“安全訓練計画書”を送付致しますので、各艇メンバーへのご一報、及び  
ご周知の程、宜しくお願い致します。

### ■ 送付資料

安全訓練計画書 A4×3ページ (本紙含め全4ページ)

つきましては、以下の内容をご確認頂き、自艇の訓練項目の準備をお願い致します。

### ■ 当日の準備

- <持ち物> 本資料、筆記用具、無線設備が無い艇⇒(430MHz 帯ハンディアマチュア無線機)
- <訓練艇> 訓練が実施出来る様、法定備品等の事前確認
- <注意事項> 参加費は無料 (昼食は各艇で用意下さい)

例年、欠席や遅刻する艇が見受けられますが、

**艇長会議(クラブハウス、8:30~)には、必ず各艇1名のご出席をお願い致します。**

- 出艇不可の艇、当日、アマチュア無線設備を準備出来ない艇  
上記艇は、速やかに下名宛へ連絡をお願い致します。

OYC安全委員長 川添 俊

電話:090-1299-5963 (平日 19:00~21:00)

E-Mail: 0xf3mg1x7853j4g@ezweb.ne.jp

必ず、**※9月4日(火)までに**、ご連絡ください。

### ■ その他注意事項

安全訓練は、OYC 公式行事です。出艇出来ない場合でも、最低1名は訓練に参加頂きます。

※艇長会議で確認出来なかった艇(会議欠席)は、日直当番のペナルティの対象となります。

## 第26回 鬼崎ヨットクラブ安全訓練計画書

鬼崎ヨットクラブ安全委員会

1. 実施日 平成 24 年 9 月 9 日 (日)
2. 場所 鬼崎フィッシャリーナ東岸壁および鬼崎港沖
3. 内容

### ■3.1) 午前の部

- 8:30 会長の挨拶  
OYC 各委員からの連絡事項 (クラブハウス)  
安全訓練の艇長会議 (クラブハウス)
- 9:30 陸上訓練準備 (鬼崎フィッシャリーナ東岸壁テント敷設)
- 10:00 陸上訓練開始 (鬼崎フィッシャリーナ東岸壁)
- 11:00 陸上訓練終了
- 11:10 海上保安庁による安全講話

- ・陸上訓練概要  
常滑消防署の指示に従い訓練実施、AEDを用いた心肺蘇生方法等

### ■3.2) 午後の部

- 13:00 海上訓練出艇 (鬼崎港沖訓練水域)
- 13:30 海上訓練開始
- 15:00 海上訓練終了
- 15:30 後片付け・解散

- ・海上訓練概要  
鬼崎港沖約1Km 海上、本部艇の西側に円陣上の配置に着く …… 添付図参照  
(全艇 OYC 旗を揚げ本部艇東側に航路を設け訓練スペースを作る)  
参加各艇は、本部艇の指示に従って担当の訓練を行う。  
本部艇は、アマチュア無線機を使用して指示を行う。  
拡声器での連絡は、連絡艇から海上訓練実施中の艇への指示のみとする。

参加艇: 鬼崎ヨットクラブ所属全艇  
常滑警察署 警備艇 “とこなめ愛2”  
中部空港海上保安航空基地  
“はるかぜ”及び“レスキュー艇(ゴムボート)”

本部艇: Caress2 (川添安全委員、竹村安全委員、海上保安委員、他2名)  
連絡艇: YMCAミストラルIV艇 (2-3 名、写真撮影を兼務)

# 海上訓練プログラム

## 1. 準備

全艇乗員は、ライフジャケット着用、アマチュア無線機を使用できる状態にする。  
連絡周波数 432.90MHz

## 2. 火災消火 (CARINA、MY DREAM、美州、Skytime、PERVERT-II)

a)火災を模擬し、信号紅炎を点火し、消火器もしくはバケツで消火する。

## 3. 遭難信号 (志摩、波光、せいりょうパラダイス、ISE-V、零III)

、手旗、笛で知らせる。信号紅炎(使用期限切れ可)を使用する。

発煙浮信号、光せん、パラシュートフレアは、空港に伴う規制区域の為、使用厳禁

## 4. 落水者救助 (ぐらんめーる、バリハイ、シーホース、はやぶさ、QUIERIDA セロ)

落水者発生後、**国際信号旗 O 旗を掲揚し、**

直ちにライフリングを投下、反転して風下より近づいて救助する。

## 5. 応急操舵 (Only you-2、風の如く、BROWN SUGER II、らくだ、J. BLOW)

舵のトラブルが発生し、予備ラダー、応急ラダー、ねりがい等により航行する。

## 6. 乗換曳航

航行不能船は、**国際信号旗 NC 旗を掲揚し、**救助艇からの指示を仰ぐ。

a) 航行不能となり漂流する艇に、救助艇が近づき曳航する。

b) 航行不能となり漂流する艇は、警備艇「**とこなめ愛2**」に乗員を乗換え曳航される。

救助艇	航行不能船
a) 白砂	ひねもすVI
a) QUERIDA	LUNA-5世
<b>警備艇“とこなめ愛2”</b>	b) アルバトロスII

## 7. 荒天帆走 (マイマイ、エスペランサIV、SATAIII、雲、シャチ二世)

ストームジブ及びリーフしたメインセールとし、乗員は、ライフジャケットに加えライフハーネスを着用。

## 8. 霧中航行 (Zic Zac II、フォルテ、Coo Coo Smile、HIBISCUS-III)

レーダーリフレクタを掲げフォグホーンを鳴らしながら微速前進する。バウで前方の監視を行う。

## 9. 連絡艇

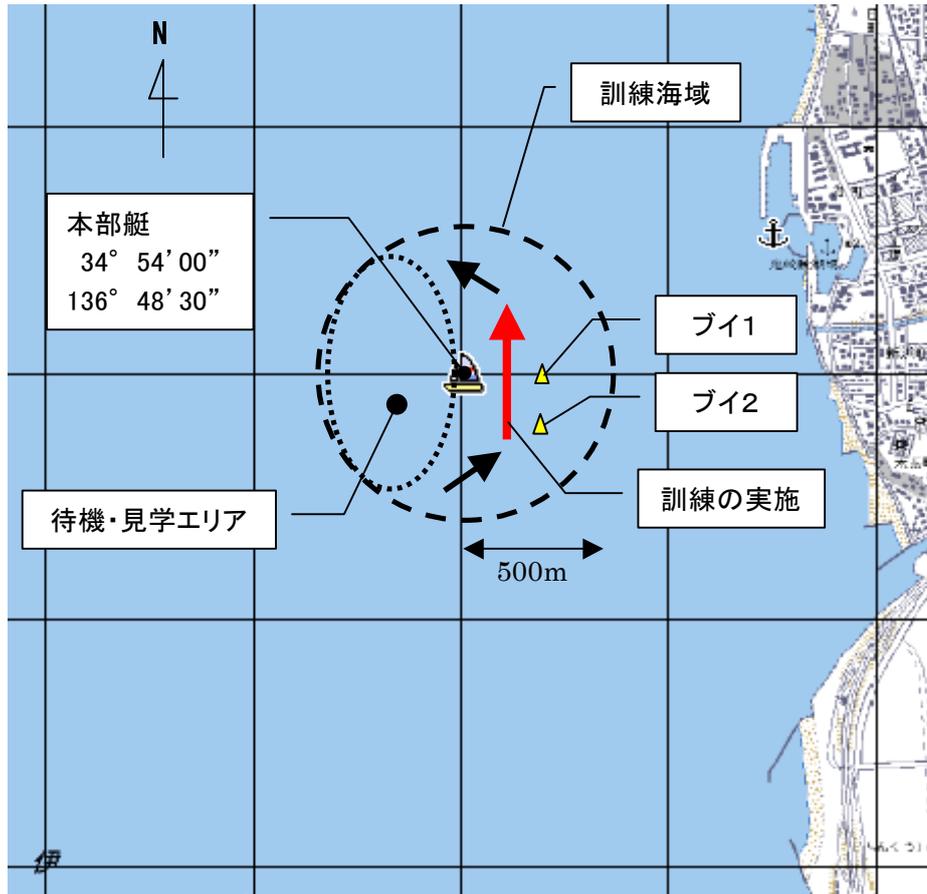
連絡艇はYMCAミストラルIV艇が担当。本部艇の連絡サポート、訓練の写真撮影を担当する。

## 10. アマチュア無線通信訓練

本部艇から訓練艇各艇へ随時、無線で呼び出しを行う。各艇の応答状況をチェックし、交信することによってアマチュア無線の使用訓練とする。

以上

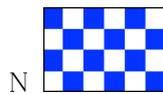
海上訓練エリア



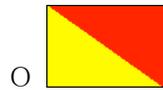
※ 状況により、訓練海域の変更あり

参考

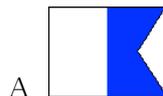
・国際信号旗の意味



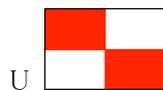
NC旗：私は遭難している。直ちに援助がほしい。



O旗：人が海中に落ちた。



A旗：潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。



UW旗：ご安航を祈る。

・運転不自由船及び操縦性能制限船の措置

紅色全周燈二個を垂直線上 又は、黒球二個を垂直線上